

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 16 日 (2017.3.16)

【公開番号】特開 2015-157460 (P2015-157460A)

【公開日】平成 27 年 9 月 3 日 (2015.9.3)

【年通号数】公開・登録公報 2015-055

【出願番号】特願 2014-34488 (P2014-34488)

【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 29/13 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 29/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 8 日 (2017.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明の記録装置は、記録材を内部に收容する記録材収納容器と、前記記録材収納容器に收容された記録材を用いて記録を行う記録手段と、を搭載可能な搭載手段であり、主走査方向の走査が可能な搭載手段と、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得するための検出部と、前記記録材収納容器及び前記記録手段が搭載された状態の前記搭載手段を内部に格納すると共に、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載された状態で、前記記録材収納容器が外部に対して開放されることが可能となる開口部が形成された筐体と、前記開口部を覆うことが可能なカバーと、を有し、前記カバーが閉じられた状態のときに、前記検出部が、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得することが可能であり、前記カバーが開けられた状態のときに、前記検出部が、前記開口部から退避する方向に移動することが可能であり、前記検出部は、前記カバーにカム部材が取り付けられ、前記筐体に付勢された状態で移動可能に取り付けられ、前記カバーが閉じられた状態のときに、前記検出部が前記カム部材に当接することによって、前記カム部材が、前記記録材収納容器が配置されているか否かを検出することが可能な位置に配置され、前記カバーが開かれると、前記カム部材が前記検出部から離間し、前記検出部が前記カバーの移動に連動して前記開口部から退避する方向に移動することを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録材を内部に收容する記録材収納容器と、前記記録材収納容器に收容された記録材を用いて記録を行う記録手段と、を搭載可能な搭載手段であり、主走査方向の走査が可能な

搭載手段と、

前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得するための検出部と、

前記記録材収納容器及び前記記録手段が搭載された状態の前記搭載手段を内部に格納すると共に、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載された状態で、前記記録材収納容器が外部に対して開放されることが可能となる開口部が形成された筐体と、

前記開口部を覆うことが可能なカバーと、を有し、

前記カバーが閉じられた状態のときに、前記検出部が、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得することが可能であり、

前記カバーが開けられた状態のときに、前記検出部が、前記開口部から退避する方向に移動することが可能であり、

前記検出部は、前記筐体に付勢された状態で移動可能に取り付けられ、前記カバーにカム部材が取り付けられ、前記カバーが閉じられた状態のときに、前記検出部が前記カム部材に当接することによって、前記カム部材が、前記記録材収納容器が配置されているか否かを検出することが可能な位置に配置され、

前記カバーが開かれると、前記カム部材が前記検出部から離間し、前記検出部が前記カバーの移動に連動して前記開口部から退避する方向に移動することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記開口部は、記録された記録媒体の排出される排紙部の上方に形成され、

前記検出部は、前記カバーに取り付けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記検出部は、前記カバーの内側の位置に取り付けられていることを特徴とする請求項 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記検出部は、前記筐体に付勢された状態で回転可能に取り付けられており、

前記カバーが開けられた状態のときに、前記カム部材が前記検出部から離間し、前記検出部が回転移動することによって、前記開口部から退避する方向に移動することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 5】

記録材を内部に収容する記録材収納容器と、前記記録材収納容器に収容された記録材を用いて記録を行う記録手段と、を搭載可能な搭載手段であり、主走査方向の走査が可能な搭載手段と、

前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得するための検出部と、

前記記録材収納容器及び前記記録手段が搭載された状態の前記搭載手段を内部に格納すると共に、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載された状態で、前記記録材収納容器が外部に対して開放されることが可能となる開口部が形成された筐体と、

前記開口部を覆うことが可能なカバーと、を有し、

前記カバーが閉じられた状態のときに、前記検出部が、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得することが可能であり、

前記カバーが開けられた状態のときに、前記検出部が、前記開口部から退避する方向に移動することが可能であり、

前記検出部は、磁力を発生させる磁力発生手段と、磁力を検出するための磁力検出部を備え、前記磁力検出部によって検出された磁力に基づいて、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報が取得されることを特徴とする記録装置。

【請求項 6】

記録材を内部に収容する記録材収納容器と、前記記録材収納容器に収容された記録材を用いて記録を行う記録手段と、を搭載可能な搭載手段であり、主走査方向の走査が可能な

搭載手段と、

前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得するための検出部と、

前記記録材収納容器及び前記記録手段が搭載された状態の前記搭載手段を内部に格納すると共に、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載された状態で、前記記録材収納容器が外部に対して開放されることが可能となる開口部が形成された筐体と、

前記開口部を覆うことが可能なカバーと、を有し、

前記カバーが閉じられた状態のときに、前記検出部が、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得することが可能であり、

前記カバーが開けられた状態のときに、前記検出部が、前記開口部から退避する方向に移動することが可能であり、

前記検出部は、電波あるいは電磁波を発する発生手段と、前記発生手段によって発せられた前記電波あるいは電磁波を受け取る受取手段とを備え、前記受取手段によって受け取った前記電波あるいは電磁波に基づいて、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報が取得されることを特徴とする記録装置。

【請求項 7】

記録材を内部に収容する記録材収納容器と、前記記録材収納容器に収容された記録材を用いて記録を行う記録手段と、を搭載可能な搭載手段であり、主走査方向の走査が可能な搭載手段と、

前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得するための検出部と、

前記記録材収納容器及び前記記録手段が搭載された状態の前記搭載手段を内部に格納すると共に、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載された状態で、前記記録材収納容器が外部に対して開放されることが可能となる開口部が形成された筐体と、

前記開口部を覆うことが可能なカバーと、を有し、

前記カバーが閉じられた状態のときに、前記検出部が、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得することが可能であり、

前記カバーが開けられた状態のときに、前記検出部が、前記開口部から退避する方向に移動することが可能であり、

前記検出部は、発光手段と受光手段とを備え、前記発光手段及び前記受光手段のうちの一方が、前記記録材収納容器あるいは前記搭載手段に取り付けられ、前記発光手段及び前記受光手段のうちの他方が、前記筐体あるいは前記カバーに取り付けられていることを特徴とする記録装置。

【請求項 8】

記録材を内部に収容する記録材収納容器と、前記記録材収納容器に収容された記録材を用いて記録を行う記録手段と、を搭載可能な搭載手段であり、主走査方向の走査が可能な搭載手段と、

前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得するための検出部と、

前記記録材収納容器及び前記記録手段が搭載された状態の前記搭載手段を内部に格納すると共に、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載された状態で、前記記録材収納容器が外部に対して開放されることが可能となる開口部が形成された筐体と、

前記開口部を覆うことが可能なカバーと、を有し、

前記カバーが閉じられた状態のときに、前記検出部が、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得することが可能であり、

前記カバーが開けられた状態のときに、前記検出部が、前記開口部から退避する方向に移動することが可能であり、

前記検出部は、発光手段と受光手段とを備え、前記受光手段は、前記発光手段から発せられた光を内部に通す導光体と、前記導光体を通った光を受光して受光したことを検出可能な受光素子とを有し、前記カバーが開けられた状態のときに、前記導光体が、前記開口

部から退避する方向に移動することが可能であることを特徴とする記録装置。

【請求項 9】

記録材を内部に収容する記録材収納容器と、前記記録材収納容器に収容された記録材を用いて記録を行う記録手段と、を搭載可能な搭載手段であり、主走査方向の走査が可能な搭載手段と、

前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得するための検出部と、

前記記録材収納容器及び前記記録手段が搭載された状態の前記搭載手段を内部に格納すると共に、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載された状態で、前記記録材収納容器が外部に対して開放されることが可能となる開口部が形成された筐体と、

前記開口部を覆うことが可能なカバーと、を有し、

前記カバーが閉じられた状態のときに、前記検出部が、前記記録材収納容器が前記搭載手段に搭載されているか否かについての情報を取得することが可能であり、

前記カバーが開けられた状態のときに、前記検出部が、前記開口部から退避する方向に移動することが可能であり、

前記検出部は、発光手段と受光手段とを備え、

前記発光手段が発光した際に、発光したことを検出することが可能な発光検出手段と、前記記録材収納容器が前記主走査方向に沿った所定位置にあるか否かを検出する位置検出手段と、をさらに有し、

前記受光手段による受光の有無と、前記発光検出手段による検出結果と、前記位置検出手段による検出結果とに基づいて、前記カバーの開閉状態が判断されることを特徴とする記録装置。